

作業手順書

工事名称	元請会社	
会社名	サンアルミ建材株式会社	安全衛生責任者(部長)
作業名	アルミ・銅製建具工事(溶接作業)	作業主任者
使用機械		
使用工具		
使用材料		
保護具	安全靴、安全帯、保護帽、防塵マスク、防塵メガネ	送り出し教育
作業人員	必要な資格	①免許
		②技能講習
		③特別教育
全体に注意すべきこと		

①作業区分	②番号	③手順	④急所	⑤危険性・有害性	可能性	重大性	評価	危険度	⑥危険有害要因の防止対策	⑦図・写真及び注意事項
作業前確認		作業内容の確認(施工図面・仕様書の確認)	設計変更の有無、手持ちの図面と承認図の整合について確認をする ・不明部分について確認をする ・仕様、関連工事について確認をする ・施工図を検討し安全作業の範囲を確認する		3	3	9	III		
		作業手順・KYを行う(KYボードに記入・指示)	・予想される危険について、ミーティングで周知対策を確認する ・作業手順書を活用して行う	・安全上の急所がわからないことによる危険					・KYに積極的に参加、発言をする ・KYボードを作業場所付近の見やすい所に提示し、作業員に周知徹底する	
		有資格者の確認をする(必要人員)	・アーク溶接特別教育修了者 ・ガス溶接特別教育修了者 ・低電圧特別教育修了者 ・研削と石の取扱業務教育	・無資格者作業による危険	3	3	9	III	・有資格者による適正配置を行う ・資格証の本証を携帯する	
		服装・保護具の点検をする	・服装、安全靴、安全帯、保護帽 ・防塵マスク、防塵メガネ、保護面 ・保護手袋	・服装及び保護具の不備または未着用による危険	3	3	9	III	・作業前に服装、安全靴、安全帯、保護帽、防塵マスク、メガネ、溶接用保護面の点検を行う ・点検時に不良品を見つけた場合、排除又は交換する ・待込時、始業時、定期的に点検する ・不良品は修理又は交換する	
		機械、工具の点検をする	・溶接機・電撃防止器の点検をする ・ケーブル・ホルダーの絶縁部の破損点検をする ・コネクタ・アースランプを使用する ・溶接機本体と二次側アースは完全か確認する ・溶接機本体に使用責任者名を標記する ・分電盤の接続部に行先表示(回路先)をつける	・保守点検を怠り、感電や火災が起こる危険	3	3	9	III		
		周囲の確認	・作業範囲に可燃物がいないか確認をする	・溶接の火花が飛び火し、火災・爆発を起こす危険	1	5	5	III	・可燃物の移動(可能な場合) ・消火設備の準備・設置場所の確認	
本作業		アーク溶接作業	・有害光を浴びない ・溶接機のケーブルを必要以上にたらしさない ・溶接中に発生するヒュームを吸い込まない ・一酸化炭素を多量吸入をしない ・スパッタ、スラグの飛散に気をつける ・溶接棒に触れない ・溶接の火花に気をつける	・有害光により眼障害となる ・長い溶接ケーブルを使用しつまづき転倒する危険 ・溶接中に発生するヒュームの吸入により健康被害を起こす ・一酸化炭素の多量吸入により一酸化炭素中毒を発生する ・スパッタ、スラグの飛散による火傷の可能性 ・溶接棒が体に触れ、感電し負傷する ・周囲の可燃物に溶接の火花が飛火し火災を起こす危険	3	1	3	II	・溶接に適した、遮光眼鏡または保護眼鏡を使用する ・ケーブルの長さを最小限に抑え、無駄な線をたらしさない ・防じんマスクの着用の徹底 ・換気 ・溶接用遮光保護面を使用し、眼及び皮膚の露出部をなくす ・衣類が濡れた場合、乾いた物に交換する ・溶接棒が体に触れないよう気をつける ・作業範囲の近くに可燃物を置かない ・消火設備の配置 ・火災使用後の残り火確認 ・防火シートを張る	
		ガス溶接作業	・ガス漏れに気をつける ・可燃性ガスの取扱いに気をつける ・高所作業中の火花落下防止	・ガス漏れによる火災・爆発 ・取扱不備による火災・爆発 ・高所作業中、火花が下部に落下し火災となる危険	1	5	5	III	・消火設備(水・消火器等)を設置する ・作業前にガス漏れ点検をする ・作業範囲の近くに可燃物を置かない ・容器を直射日光にさらさない ・ガスの種類によって通気孔 ・防火シートを張る ・消火設備(水・消火器等)を設置する ・吹管・火口の作業前点検	
		仕上げ作業	・火の粉が眼に入らないように気をつける	・眼に入り負傷する	1	3	3	II	・操作手順の徹底 ・保護面・皮手袋・足腕カバーなどを着用する ・保護面・防護メガネ等を着用する	
		整理整頓	・作業中は常に綺麗にし、不要物は片付ける	・思わぬ怪我をおこす	3	3	9	III	・常に整理整頓をし、使用しない物は片付ける	
		作業終了後	残材整理・清掃	・溶接作業場所周辺を点検し、火の気が残っていないか確認する ・残材はきちんと片付け、不要材は搬出する ・作業終了後、清掃を行う	・作業終了後の火災発生	1	5	5	III	・溶接作業終了後は、一定時間残り火確認をする ・作業場所の清掃、片付けを行う
		工具の片付け	・工具類は点検をし、片付ける ・溶接機は分電盤のスイッチを切る	・不良品を使用した感電事故の危険	1	3	3	II	・整理時、不良品の廃棄と補充	
		報告と確認	・作業完了又は継続かの報告をする	・作業手順通りに進んでいるのか完了しているのか継続なのか不明になる	1	1	1	I	・二目的作業を報告する	

リスク評価基準	①可能性(災害の発生度合)	: 可能性が極めて高い 5点 可能性がある 3点 可能性が低い 1点
	②重大性(災害の程度)	: 死亡・後遺障害を伴う災害(重大) 5点 休業4日以上(重い) 3点 休業4日未満の災害(軽度) 1点
	③リスク評価 = ① × ②	
	④危険度(リスクレベル)	: V(重大な問題 25点) IV(かなり問題 15点) III(問題あり 9・5点) II(少し問題 3点) I(許容可能 1点)